令和8(2026)年6月4日発行　第178号

こびとのおうちえんLetter 6月号

ガリヨシの横の森でおうちづくりしたいと(ゆうき)(いちか)。家づくりをしたあと虫文がすごくなり退散。船の原っぱへのいちごさがしに行くことに。そして、オタマジャクシの池につくと草がかがかがとうごいたので、何かかくれたなと思ってケケでつつくと、カモがでてきた。そのうしろには赤ちゃんがついて泳いでいる!! とおもったら、モコモコモコっていっぱいでてきた。なんとなんと12匹くらい赤ちゃんがでてきてついて泳いでいった。かわいい〜〜〜 かわいすぎる〜!! しばらくカモの赤ちゃんを遠くにみていた私たちw こんなことに出会えるなんて超ラッキー! 午後はお米のたねまき。今年もみんな上手にていねいにやってくれました。そのあと、おにわでは、ハロウィンのジャムをつくった(いちか)(あみ)(みなと)がおままごと。(5/11)

5月はこんなことしました

- のいちごさがし
- のいちごジャム、パンケーキ作り
- のいちご豆乳寒天づくり
- 山北さん太鼓LIVE
- かくれんぼ
- スッポンをさばいてたべる
- だるまさんがころんだ
- お米のたねまき
- おにわの土入れ工事
- 畳床の横でミニドロンコプール
- 上関丸石の浜であそぶ
- 上関ビーチの浜であそぶ
- そらまめ、玉ねぎ、ほうれん草の収穫
- キクラゲさがし
- 虫とりさんぽ
- マテ貝ほり
- こいのぼりをあげる
- 室積海水浴場の浜であそぶ
- 鼓ヶ浦であそぶ!! etc…
- いちご狩り
- けいどろ
- 川でつりごっこ
- モビールづくり

おたんじょうびおめでとう!!

30日 ふじみつ きよひとくん (6さい)

おねがいとお知らせ

◎6/8(月)〜8月第1週までの間、向井康起(こうき)くん(3さい)がおうちえんで共に過ごします。よろしくお願いします。

◎年長さんのおたのしみ、夏キャンプを7/10(金)〜11(土)の日程で行います。詳しくは後日おしらせします!

◎今年の夏休みは、8/8(土)〜19(水)です。よろしくおねがいします。

◎これから水あそび、ドロプールの季節です。十分あそべるように着替え、サンダルをもたせて下さい。また、雨の季節でもありますので、カゴの中身を定期的にご確認下さい。

◎とびひ、水いぼのあるお子さんは、常に(毎日)体をふく用のタオルをもたせて下さい。(手ふき用とは別に)タオルを共用しないためです。おふろは入れないのでシャワーで対応させてもらいます。ご協力おねがいします。

6月のスタッフプラン

たうえ

23日(火) おべんとうのひ

なぎさ水族館へいこう!!

※おべんとうの準備をおねがいします。

おむすびの日

2(火) 9(火) 16(火) 30(火)

(済) ※おむすびおねがいします!

_____の様子をおしらせします。

6月のペアレンツグループ

29日(月) 13:00〜15:00

(子どもがすきな方はご連絡下さい)

場所　もみじのいえ。

内容　・フィーリングループ〜自分をゆっくり感じる時間

・メルティングストローク〜体の声をきいてみよう

(動きやすい服装で。スカートNGです)

りかさんのコーナー

約17年前、あつおさんが「ここに幼稚園を作ろう」と言い出した。うちの子ども達の友達が地元の幼稚園が終わった後毎日のようにやってきて、その頃暇なオヤジを目指していたあつおさんがその子ども達を引き連れて、山や川で遊んでいた。「光くん(うちの長男)のお父さん、なんでいっつもおるん?」と不思議がられながらも、子ども達は当然大喜び。いや、だからといって「ここを幼稚園にすね?」私は反対した。「うちに4人も子どもがいるのに、よその子を預かる? 意味が分からない」「里香はなんにも手伝わなくていい」「じゃあどうやってやるん?」「スタッフを探す」「そんな人おるわけない」「そんな人がおったらやってええね?」「やったらええやん!(おるわけない)」そんなやり取りの、ほんの数日後、「メインで保育スタッフをやってみたいという人が見つかってな」「はあ〜?!」それがよっこだった。(今考えても不思議)

あれから16年以上経った。おうちえんの6年後、てらこやも始まって、今も変わらず子ども達の声が毎日響いていることがありがたい。

おうちえん、てらこやに関することで、最近本当に嬉しいことが2つあった。1つは、先月のおうちえんレターによっこも書いていたこと。3月終わりにおうちえんの同窓会が初めて開かれ、たくさんの子ども達(大きくなった子ども達!ほぼ大人!)が集まってくれたこと。それぞれの子ども達の笑顔が眩しすぎて、夢のようだった。

そしてもうひとつは、最近と言ってもほぼ1年前のことになるが、宙が螢雪高校の意見発表という場で、学年の代表として、自分の思いを述べた、その内容。その タイトルが『光っているのは剥がれ落ちた金箔なのかもしれない』という厨二病みたいなものだったので(笑)、会場にいたけど、内容はまったく知らされていなかった。私は(というか、代表に選ばれていることさえ知らんかった!)、今からなにを聞かされるん?とドキドキしていた。発表の内容は、苦しかった中学時代のこと、そしておうちえん、てらこや、螢雪高校への感謝の言葉だった。「何者でもない自分を受け入れてくれた、何も持っていなくてもいい、存在が承認されるのに条件のいらない場所、生きているだけで生きていいい理由、その感覚が僕らに全てを持たせたし、何者にもさせた。」最後は、「おうちえん、てらこやでの学びや経験は今も僕の中を脈々と流れている。何より帰る場所であり続けてくれてありがとう。」という言葉もあった。私は涙を流しながらその発表を聴いた。そんなふうに考えてくれてたんだね。そしてそれを言葉にして表してくれたんだね。ありがとう!(厨二病とか思ってごめん!)

幼い子ども達と向かい合う日々は、変化や成長が小さくてわかりにくくて、正解も見えない。これでいいの?不安。それぞれを正直に積み重ねていくと・・・えー こんなご褒美が!! ということがあるんだね。あらためて、歴代のスタッフ、子ども達、保護者の皆さんに感謝です。

大下里香

OBのR、K、Uの運動会を見にいった。自分をもって立ってる3人の姿にずっと感動していた。その中で特に心に残ったのが、Rの部活紹介(彼は総合文化部)のコーナー。Rのつくった紙ヒコーキをとばして、(彼は専門的で高い技術と知識をもっている)他の子が2人で布でそれをキャッチするというパフォーマンス。Rが風をよんでいる。この日、風がいっこう強かった。1回目、よくとんだ。キャッチはならず。2回目はわりとすぐにとばして落下。3回目、Rは、じっくり風をよんでた。自分のヒコーキをとばすため集中してる。時間も少しつかっている。私の近くで「空気も読まんとね。」という声がきこえた。Rがじっくり風をよんでとばしたヒコーキは、高く長くすごい弧を描いて旋回したあと運動場のタトへとんでった。「とんでいっちゃいました。また作ります。」もりきった態度は心をキコった。私はRが空気ではなく、風をよむことを貪った姿にカンドーしてた。あの場で堂々としてるRはすごい。Rが1番やりたいことをしっかりみせてくれた。私だったら、それこそ空気よんで自分のことをおいてしまうかもしれない。Rは時間に限りがあることも分かってる上でやってたとも思う。(5/23)

山北さんのジャンベのとき。(きよひと)が歌う私につられて歌い出した。1人でも平気で歌詞がわからなくても平気できもちよさそうに歌ってる。その心のままの自由さにカンドー。(みつき)は、「たいこの声、○○って言ってるようにきこえる」(○○はききとれなかった…)すずが鳴れば「サンタの来る音がする」(5/8)

午後、男の子たち((なおと)(きよひと)(みつき)(らく)(みなと))は、何をするのか思いつかず、しばらくどうしようかな…の感じ。みなぎに こっちからは声をかけずにいよう。ちょっと様子をみることにしよう。と声をかける。しばらくふらふらしたあと「大なわする」と言い出した。へえ〜!! 意外な展開になった。私がついていった。そして、めずらしい男の子5人の大なわがはじまる。(なおと)が大なわって、はじめてじゃない? (みつき)(みなと)(きよひと)がナワが回ってる中に入れるのは知ってるけど、(なおと)や(らく)もその流れで回ってるナワに入ることに。そして なんとなんと タイミング をつかみとべるようになった!! おめでとー。うれしそう。たのしくていっぱいくり返しとんでる。よかったね。それにしてもふしぎー。でも今日だったんだなー。おもしろいなあ。(5/28)

おへやで工作しておんぎょうつくってる(あみ)(いちか)(みお)。2時になったらちょうけて、おんぎょうをうごかしてあそぶ。(みお)が「ねえ、あわおどりって知ってる?」って言って、おんぎょうでおどってた。さすがあわおどりの名人! 3人ともおんぎょうでおどってた。さいごには自分でおどりだし、おへやにいるみんな((みつき)(まいる)(みなぎ))でおどってた。(5/14)

よっこのちょこっとおうちえん日記 〜4月のあゆみ〜